

4

「歴史の道」

山形県尾花沢市



データボード④

- ① 山形県尾花沢市大字市野々字山刀伐
- ② 延長1,150m、幅員約1m
- ④ 杉丸太材、鳥海石など
- ⑤ 芭蕉来訪300年記念イベント

約三百年前の元禄二年（一六八九）の春、俳聖松尾芭蕉が門人曾良を伴い、みちのくを旅し、後に不朽の名作として後世に伝えられている『おくのほそ道』紀行における山刀伐峠越えは、作品全体の山場になっているといわれる。「歴史の道」はこのような歴史的背景に基づいてこれらの道を整備したもので、訪れる人々に心の安らぎを与え、ともに、文化財保護思想を啓蒙し、地域の活性化に結びつけることをねらいとしている。平成元年は、芭蕉来訪三百年目の年にあたり、尾花沢においても芭蕉清風歴史資料館での特別展や俳句大会などが行われた。